

お客様各位

日増しに寒さが身に染みるようになり冬がもうすぐそこまで来ているように感じますが、皆様は如何お過ごしでしょうか。

先日、サッカー日本代表がブラジルと戦い0-4という結果で完敗しました。

しかし、代表として出場した本田選手に深く考えさせられるコメントがありました。

試合に負けたことに対して、

「すごく楽観している。その気持ちは変わってない。試合前と同じで（フランス、ブラジルを）格上だとは思ってない。なぜなら、自信があるから。結果が自信を生むんじゃなく、内容が自信を生む」

「勝ったら勝ったで偉そうにできて良かったかもしれないけど、これで勝ったなら、この先、面白くない。こういう相手を負かすためにまた頑張ろうと思った」。

一見負け惜しみとも強気な言葉とも受け止められるかもしれませんが、

人一倍、だれにも負けにくいぐらい努力を重ねてきたからこそ自信があるのでしょう。

さらに「また頑張ろうと思った」とも言っています。

しっかり課題を見つけて更なる上を目指そうとしているのを感じます。

仕事も偶然上手くいったことなのか、それとも必死に努力をしたことが良い結果に繋がったのかでは大きな差があります。

日々の努力を積み重ね本田選手の言う自信を付けられるよう、

そして仕事のレベルアップに繋がるように頑張っていきましょう。

## 須黒会計インフォメーション

平成 24 年 11 月号

I N D E X

1. 【経営情報】 1000回の失敗から
2. 【会計税務】 節税策ダッチサンドイッチ
3. 【ヒント・ヒント】 当たり前
4. 【お役立ち情報】 経営体力診断のご提案

## 5 . 【セミナー情報】 11月開催セミナーのご案内

### 1 . 【経営情報】 1000回の失敗から

#### 【1000回の失敗から】

読売新聞のコラムに、ノーベル生理学・医学賞に選ばれた山中伸弥・京都大学教授(50)のことが載っていたので紹介したいと思います。

「スポーツ選手を治療する整形外科の臨床医を志し、挫折している。

うまくやれば20分の手術が2時間かかったというから、よほど不器用だったのだろう。

邪魔で足手まといの“ジャマナカ”と先輩医師からは残酷な異名までもらったという。

臨床医になる夢にふられて研究医に転身し、iPS細胞という途方もない“孝行息子”を人類の未来に産み落とした。<人間万事塞翁が馬>だからこそ、人生は面白い。仕事に、あるいはほかの何かにつまずき、どん底のなかで偉業の朗報に接した人も多かる。明日を信じて、今日の悔しさ、涙に乾杯！」

「よし、俺も頑張るぞ」と勇気づけられたのは私だけでしょうか？

経営(仕事)の現場を走り続けていると、多くの失敗、挫折、困難にぶつかります。

その経験こそが、持てるすべてのエネルギーを自分の今やるべき大切な唯一のことに注力できる原動力になるのではないのでしょうか。

「災い転じて福となす」「人間万事塞翁が馬」

失敗経験が、自分にとって本当に大切なことを明確にする機会かもしれません。

だからこそ、「失敗や挫折こそチャンス之源」といわれるのでしょう。

順調なときならいくつもの選択肢を考えられるのに、逆境に陥ると選択肢は限られてきます。

さらには、その選択肢が消極的になりやすいということです。

最後には、どうしていいか分からなくなります。

失敗したとき、ピンチのときこそ、その人の本性が現れます。

過去のことをどんなに後悔してもどうにもなりません。

後悔すればするほど自分を責めるか、他に転嫁して、人生を暗いものにしていきます。

過去のことは過去のことで肯定して、それでも前を向いて生きて行くほかにはないのです。

「身を捨ててこそ浮かぶ瀬もあり」

いい意味で「開き直る」こと。

全てを受け入れること。

自分をさらけ出すこと。

最後に、山中伸弥教授が次のように話しています。

「研究は失敗の連続。辛抱強さと失敗を恐れない気持ちが必要です。iPS細胞の研究は1000回失敗するつもりで研究しました」

「1000回の失敗をする」つもりで、人生を走り続けましょう。

その先に大きな成功が待っているのです。

## 2. 【会計税務】節税策ダッチサンドイッチ

表題の節税策について、米IT大手企業の税務戦略として、7月23日に日経新聞が全一面を使って紹介していました。日本企業は後れを取っており、日本の税法やその運用の不透明なことが遅れの背景と書いていました。

全世界所得に対する実効税率、アップル約24%、グーグル約21%、マイクロソフト約18%と、かなり低いのは、ネバダ州、アイルランド、オランダ、ルクセンブルク、ケイマン、ヴァージニア諸島といったタックスヘイブン地域に名目上の拠点を設置し節税しているから、と説明しています。昨年では、140億ドルの利益をあげた米電機・金融大手GEが米法人税を一切支払っていないとして、話題になっていましたが、課税喪失の構造は同じです。

世界でタックスヘイブン対策税制に最も熱心なのは米国なのに、米国ではタックスヘイブンの利用による租税回避が日本よりも容易なようです。日経記事によると、海外展開を急ぐ経営者や、税務の専門家は、日本では無形資産の対外取引などのルールがあいまいなため、予測可能性が低く、米国企業に比べ不利と口をそろえて言うそうです。

ニューヨークタイムスは、4月末にアップルを税金回避方法を開発したパイオニアとして描き、莫大な税金の支払いを逃れていると、長文の批判記事を書いて話題になりました。租税回避志向の企業がアップルの手法を真似て後に続いている、と主張しました。アップルは直ちに納税額の絶対額の多さと国内雇用創出への貢献を唱えてニューヨークタイムスに反論しています。日経新聞の記事は、これを踏まえたものですが、アップル側を支持するスタンスです。

トヨタは、2兆2704億円と過去最高の営業利益を記録した直後のリーマンショックで、翌09年に一気に営業赤字に転落した際、「税を納めるといふ最低限のことすらできない状態、本当に悔しい...2年ほど厳しい環境が続くと思うが、一期でも早く利益を出して納税したい」と社長が会見で語っていました。日経新聞とニューヨークタイムス、GEやアップルとトヨタ、どちらがまともなのか、冷静に考えるべきことと思います。

### 3.【ヒント・ヒント】 **当たり前**

ロンドン五輪でも水着は年々改良されて、記録を更新している。これまで、女子用のスクール水着は、上下続きのワンピースタイプが当たり前、常識だった。

ところが、脱着が面倒、着替えに時間がかかる、トイレが一苦労という難点があった。学校などで体育用品を主に事業を展開するフットマークは、平成 16 年、着替えが楽でトイレにも行きやすい女子児童用に、「当たり前」を覆す上下が分かれた「セパレート水着」を開発販売した。

低学年でも可能な着易さと附属品で怪我をしないよう知恵を絞り、教育現場に新風を吹き込み、以来、学校販売ルートでシェアトップを維持し、年間販売数は約 35 万着にのぼる。 月刊石垣搭載

### 4.【お役立ち情報】**経営体力診断のご提案**

以下のご提案内容のうち、一つを無料にてご提案いたします！

<ご提案内容>

#### 1. 経営体力診断

企業を人間の身体に見立てて、御社の過去の実績から分析・測定し、「経営体力」の総合評価をみるとともに、現在の重点課題を明らかにします。

#### 2. マネージメント・パワー(社長ご自身の経営行動診断)

社長様へのアンケート回答にもとづき、ご自身の経営姿勢(思考と行動)の現状診断を行います。

### 5.【セミナー情報】**11月開催セミナーのご案内**

#### **「1から学ぼう相続税の仕組み」**

今後の税制改正、基礎控除額の大幅な引き下げにより相続税申告対象者の増加が見込まれます。

今まで、相続税とは縁の遠かった人たちも身近な問題となる可能性が出てきました。

そこで、相続税について全く知識がない方を対象に、これだけは知っておかなくてはならないと思われる相続税のポイントを解説します。

#### **【セミナー要項】**

日時:2012年11月23日(金) 14:00~17:00

